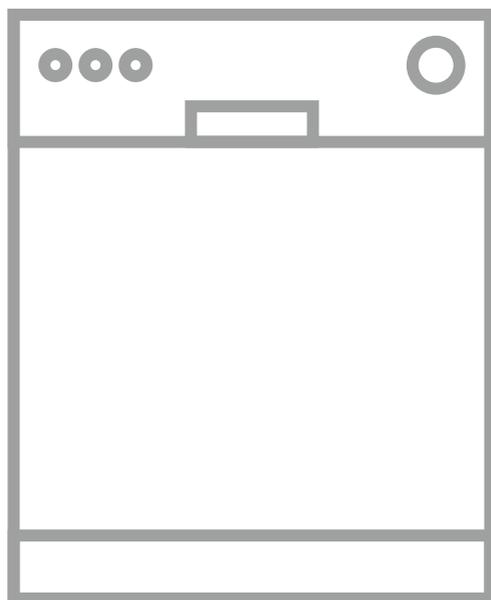


USER MANUAL



もくじ

はじめに	3	洗浄効果を上げるための ワンポイント・アドバイス	21
安全上のご注意	4	全般	21
安全にお使いいただくために	4	洗剤、リンス剤、塩の使用にあたって	21
食器類についての注意	8	バスケットに食器を入れるとき	21
洗剤とリンス剤について	9	洗浄を始める前に	22
[重要] 初めてお使いになる前に	9	バスケットから食器を取り出すとき	22
経済的に環境に配慮してお使いいただくために	9	下段バスケット	23
各部の名称	10	ナイフ・フォーク類用バスケット	24
操作パネル	11	上段バスケット	25
表示ランプ	11	上段バスケットの高さ調節	26
洗浄コース	12	お手入れとクリーニング	27
水使用量と電力消費量	13	フィルターの取り外しおよび掃除方法	27
各種設定	13	スプレーアームの掃除	28
洗浄コース選択モードとユーザー設定モード	13	製品表面の掃除	28
洗浄コース選択モードの設定方法	13	庫内の掃除	28
ユーザー設定モードの設定方法	13	故障かな?と思ったら	29
洗剤について	14	洗浄結果に満足できないとき	32
マルチタブレットについて	14	乾燥システムについて	34
リンス剤ディスペンサーについて	14	アフターサービス	35
リンス剤がなくなったときのお知らせ	14	保証について	35
リンス剤を入れるには	15	修理を依頼される前に	35
リンス剤補充お知らせ機能の有効/無効化	15	補修用性能部品について	35
Air Dry(エアドライ)について	16	修理のご依頼	
エアドライの有効/無効化	16	お申込は	36
Option(オプション)機能	17	ご連絡いただくこと	36
Time Saver(洗浄時間短縮)について	17	消費生活用品安全法等に基づく 長期使用製品安全点検制度について	37
Time Saver(洗浄時間短縮)の設定方法	17	本機の設計標準使用期間について	38
Extra Hygiene(エクストラハイジーン)について	17	点検料金について	39
Extra Hygiene(エクストラハイジーン)の設定方法	17	本機の点検の結果必要と見込まれ る部品の保有期間	39
Xtra Dry(エクストラドライ)について	17	本機の清掃、その他日常的に行っていただく 保守の内容およびその方法	39
Xtra Dry(エクストラドライ)の設定方法	17	点検制度に関するお問い合わせ先	39
塩用容器について	18	使用を終了した家電製品は正しくリサイクル	40
使い方の手順	19	梱包材	40
洗浄コースの設定と開始	19	仕様・愛情点検	41
Auto Off(オートオフ)機能	19	無料修理規定	42
洗浄コースの設定	19	製品保証書	43
Delay(スタート予約)を使って洗浄するには	20		
運転中にドアを開けると	20		
カウントダウン中に Delay(スタート予約)を 取り消すには	20		
運転中の洗浄コースを取り消すには	20		
洗浄コースの終了時には	20		

はじめに

このたびは、AEG全自動食器洗い機をお買い求め頂きまことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 取扱説明書の最後に製品保証書が付いています。製品保証書の内容および「お買い上げ日/販売店名」の記入をお確かめ頂き、別紙設置マニュアルと共に大切に保管してください。
- お読みになったら後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に、必ず保管してください。
- 本機を他の人に譲渡される場合は、必ずこの取扱説明書と設置マニュアルを一緒にお渡しください。設置マニュアルがないと正しい設置が出来ません。
- 設置および使用が正しく行われなかった場合の故障や事故については、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

 このマークの後には、「警告」「注意」に関する事項が書かれています。
本機の機能保護や、安全のために必ずお守りください。

 このマークの後には、本機を安全かつ、有効に利用するための情報が書かれています。

 このマークの後には、本機の使用に関する情報が書かれています。

 このマークの後には、環境に配慮した使い方や情報が書かれています。

 このマークの後には、その他の注意事項が書かれています。

- この取扱説明書には、製品が故障と思われるときに、お客様がご自分でトラブルを解決するための点検方法が書かれています。「故障かな?」と思われるときには、まず本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

警告



点検後も正常に動かなかったり、明らかに異常がある場合は、すぐ給水栓を閉め、電源プラグを抜くか専用ブレーカーを落とし安全を確保する

火災・事故・ケガ・感電・水漏れ・故障の恐れがあります。お買い上げの販売店にご連絡ください。

警告



修理技術者以外は、分解・改造・修理をしない

技術者以外の方が修理等を行う事はとても危険です。お買い上げの販売店にご連絡ください。

警告



コンセントプラグ、電源ケーブルの改造・交換は行わない

火災・事故・ケガ・感電・故障の恐れがあります。お買い上げの販売店にご連絡ください。

安全上のご注意

■ 安全にお使いいただくために

- ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

 **警告**：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

 **注意**：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される場合。

(絵表示の例)

-   記号は、危険・警告・注意を促す内容を表しています。
 の中に具体的な注意内容が示されています。
-   記号は、禁止の行為を表しています。
 の中に具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が示されています。
-  ● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を表しています。
 の中に具体的な注意内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が示されています。

警告

- | | |
|---|---|
| 

200Vコンセントは単独で使う
200Vコンセントは、一つのブレーカーに1つしか取り付けられません。分岐して複数個の製品を使用すると、分岐部から発火して火災になる恐れがあります。 | 

壁コンセントにはアース工事が必要
200Vコンセントの設置には、専用ブレーカーから電源とアースを200V20Aコンセントまで配線する事が必要です。この作業は有資格者のみ行うことが出来る工事です。 |
| 

電源コードの取扱いに注意する
改造しない、交換しない、傷つけない、固定しない、束ねない、破損させない、無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない、重い物を乗せたり挟み込んだりしない、製品で押しつけない、製品の上や下や側面に押し込まない
火災・事故・ケガ・感電・故障の恐れがあります。 | 

電源コードや電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるい時は、電源プラグを抜くか専用ブレーカーを切り安全を確保する
火災・事故・ケガ・感電・故障の恐れがあります。
技術者以外の方が修理等を行う事はとても危険ですのでお買い上げの販売店にご連絡ください。 |
| 
設置前に運搬による破損がないか、製品を確認する
破損した電気製品は決してコンセントに繋がらないでください。破損がある場合にはお買い上げの販売店にご連絡してください。 | |

警告



単相100Vで使用しない・海外で使用しない
動作しません。そのままにしておくと火災・故障の恐れがあります。



電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭いて埃を取る
火災・故障の恐れがあります。



浴室や屋外や湿気の多い場所には据え付けない
火災・事故・ケガ・感電・故障の恐れがあります。



電源プラグをコンセントから抜く時は、必ずプラグを持つ
電源コードは引っ張らないでください。火災・事故・ケガ・感電・故障の恐れがあります。



本体各部に直接水をかけない
火災・事故・ケガ・感電・故障の恐れがあります。



濡れた手で電源プラグをコンセントから抜き差ししない
事故・ケガ・感電・ショート of の恐れがあります。



長期間使用しない時は、必ず給水栓を閉じ、電源プラグをコンセントから抜くか、専用ブレーカーを落とす
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、専用ブレーカーを落とす
事故・ケガ・感電・ショート of の恐れがあります。



運転中は扉を開けない
高温の湯気が出てやけどをする恐れがあります。洗浄水が高温になっており、食器等に手を触れるとやけどをする恐れがあります。



運転前に庫内に食器類以外の物が入っていない事を必ず確認する
スプレー缶、ライター、引火性溶剤・ペット等が入っている状態で運転すると、火災・事故・ケガ・感電・故障などの恐れがあります。



火のついたローソク・蚊取り線香・たばこなどの火気を近づけない
火災・故障・変形の恐れがあります。



運転中に衝撃を与えない
火災・水漏れ・感電・故障の恐れがあります。



日本語が読めない方や取扱説明書の理解が出来ない方は本機の使用を行わないように注意する
火災・事故・水漏れ・故障の恐れがあります。

警告

お子様に庫内をのぞかせたり製品で遊ばせたりしない



ドアは中からあきません。庫内に残った水は洗剤等が残留している可能性があります。死亡・事故・ケガ・やけど・故障の恐れがあります。



ドアの開閉時の指のはさみに注意。指や手足などをドアやヒンジにはさまれ、ケガをする恐れがあります。小さなお子様やペットには十分注意ください。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない



ケガ・事故・やけど・故障の恐れがあります。



ドアにぶら下がらない、開いたドアに触らない
ケガ・やけど・故障の恐れがあります。

製品の梱包材はお子様の近くに置かない



ビニール・発泡スチロール・段ボールなどの梱包材は、お子様にとって窒息事故・ケガの恐れがあります。



開いたドアに寄りかからない
開いているドアに寄りかかったり、腰掛けないでください。ケガ・やけど・機器の水平度が狂い故障する恐れがあります。

洗剤やリンス剤はお子様の手が届かない場所に置く
誤飲すると事故の恐れがあります。



本機と周囲の隙間に小動物が入らないようにする
小動物が電気配線やホースをかじることで、感電・水漏れ・故障の恐れがあります。

庫内には触れない



食器の取り出し、フィルターの掃除や庫内のお手入れは、運転終了後30分以上経過してから行ってください。やけどの恐れがあります。



使わない時はドアを閉める
食器洗い機のドアは、開いたときにつまずいたり、ケガを防ぐために食器を出し入れするとき以外は常に閉めておくようご注意ください。



本機は家庭用です。一般家庭の室内で、通常の生活に使用する目的で設計・製造されています。これ以外の環境でお使い頂いた場合は、火災や漏電等の事故の恐れがあります。アフターサービスは家庭での使用を対象とさせていただきますのでご了承ください。製品修理以外の責はご容赦ください。

⚠ 注意

 設置者は必ず設置マニュアルを十分理解して取りつける

設置に必要な空間・機器を保持し固定する方法や寸法・周囲の構造物との距離・通風口の最小限の寸法や正しい配置などは、設置マニュアルに記載しています。

 設置者は設置完了後に設置マニュアルのチェックリストに従い確認する

設置不良で発生した火災・水漏れ・故障は弊社では保証致しません。

 カーペット床への設置はしない

通気口を塞いだり、確実な固定が出来ない事から火災・水漏れ・故障の恐れがあります。故障時のサービスメンテナンスも出来ません。

 使用場所が0℃以下になる場所では使用しない

凍結により、故障や水漏れの恐れがあります。

 本体前面には十分なスペースを確保する

ドアの開閉がスムーズに出来なかったり、緊急排水が出来なくなったり、故障時のサービスメンテナンスが出来なくなります。

 設置場所に注意

ガスレンジや電気コンロなど熱を発生する機器のそばに設置する場合、耐熱板で食器洗い機との間を仕切り、保護してください。火災や故障の恐れがあります。

 取付前に、全ての梱包剤と輸送用ボルトを外す

そのまま使用すると本機が破損し故障します。設置時には必ず設置マニュアルを確認してください。

 動作前に必ず給水栓を開いて給水ホースの接続を確認する

設置時にネジが緩んでいると、水漏れの恐れがあります。

 取付後、全てのホース・ケーブルが挟まれていたり押されていない事を確認する

そのまま使用すると本機が破損し故障します。設置時には必ず設置マニュアルを確認してください。

 使っていないときも電源コードは抜かない

水漏れ防止システムを搭載していますので、電源コードを抜いたり専用ブレーカーを落としてしまうと水漏れを防ぐ機能が動きません。

 家庭用食器類/鍋類以外は洗わない食器類/鍋類の劣化/破損・本体の故障の恐れがあります。

 食器洗い機専用の洗剤/リンス剤を使用する

一般の台所用洗剤では泡が異常発生し、水漏れ・故障の恐れがあります。

i 食器類についての注意



尖ったナイフやフォーク類は上段バスケットに寝かして入れるか、たはナイフ・フォーク類用バスケットに先端を下に向けて入れ、洗浄してください。

以下の食器は食器洗い機では洗わないでください。



- 漆器類
- アルミニウム食器
- 高級クリスタルグラス／着彩されたクリスタルグラス
- 木製、角製、磁器製または貝製のグリップの付いたナイフ・フォーク類
- 耐熱性のないプラスチック製品
- 耐熱性のない接着剤で接続された食器またはナイフ・フォーク類
- 錫・銅製品
- 錆びやすいスチール製品
- 木製大皿
- 工芸品
- 合成繊維で作られている製品

条件付きで洗える食器



- ストーンウェア（石器）は、「食器洗い機洗浄可能」と表示されている場合のみ、食器洗い機で洗ってください。
- うわぐすりによる模様は、食器洗い機で頻繁に洗うと色が褪せてしまう場合があります。
- 銀・アルミニウム部品は、洗浄の際に変色する傾向があります。卵白、卵黄、からし等が銀製品に付着すると変色あるいはしみを生じることがあります。食後すぐに銀製品を洗わない場合は、すみやかに付着汚れを取り除くことをお勧めします。
- グラスの中には、何度も洗うと曇りを生じるものがあります。
- プラスチック製品は乾燥の仕上がりが弱くなります。



食器類を購入する場合は、食器洗い機で洗えるかどうかをご確認ください。

i 洗剤とリンス剤について

⚠ 注意

食器洗い機専用の洗剤/リンス剤を使用する

一般の台所洗剤では泡が異常発生し、水漏れ・故障の恐れがあります。

重要 初めてお使いになる前に

- 運送中の損傷を防ぐため、バスケット類は固定されていますので、固定用のプラスチックをすべて取り外してください。
- 食器洗い機内の梱包品は全て取り出してください。
- 電源コードや給水ホース、排水ホースなどの各接続が正しく行われていることを確認してください。
- 購入後初めてご使用になる場合は、**30MIN** (30分洗浄) で事前に空洗いをを行い、庫内の汚れを落としてください。

経済的に、環境に配慮してお使いいただくために

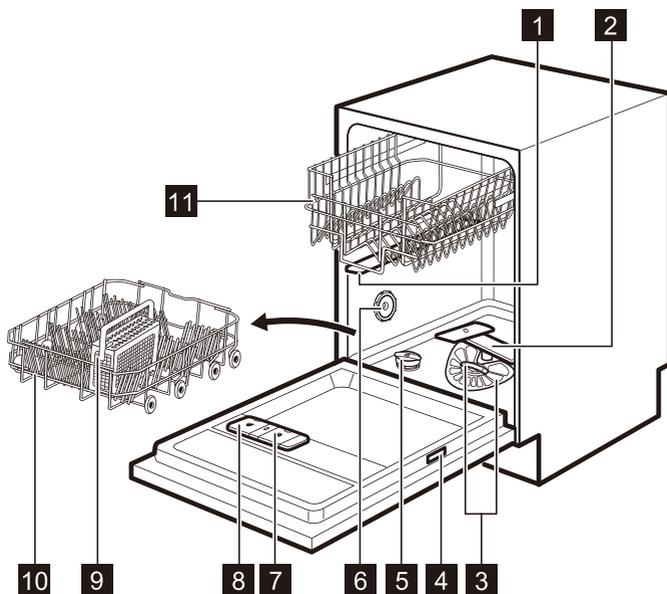
本機は食器量の多い洗浄が可能のため、例えば朝と夜の洗浄を別々にするより、食器類がたまってからまとめて洗浄するのが経済的です。

- 洗浄の際は、食器類を正しくセットし、庫内を満たした状態で洗うのが最も経済的です。
- 洗浄プログラムは、食器類の種類および汚れの度合いに応じて適切に選択してください。
- 洗剤、リンス剤は、使用表示量に従ってください。必要量以上に使用することは避けてください。

⚠ 注意

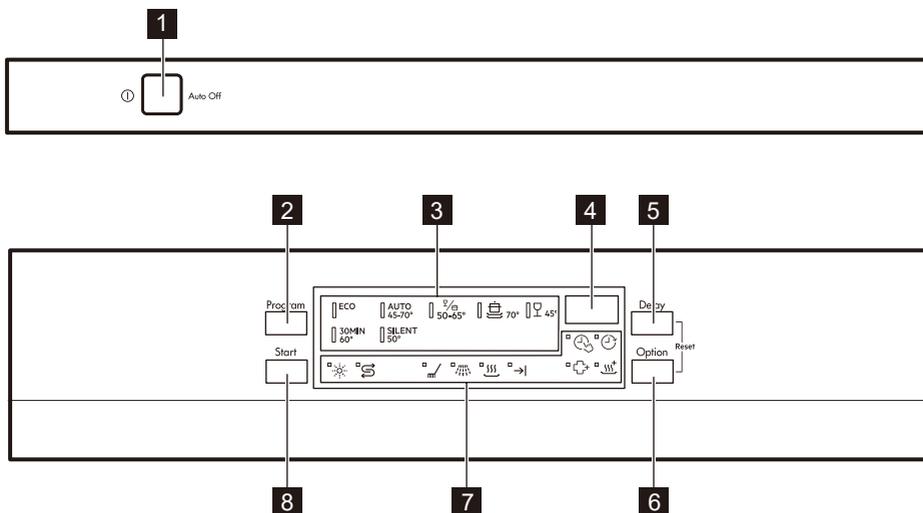
電源ならびに給水のための接続は、設置マニュアルに記載された指示を守って行ってください。

各部の名称



- 1 上段スプレーアーム
- 2 下段スプレーアーム
- 3 ゴミフィルター
- 4 銘板
- 5 塩コンテナ（日本では使用しません）
- 6 換気口
- 7 リンス剤ディスペンサー
- 8 洗剤ディスペンサー
- 9 ナイフ・フォーク類用バスケット
- 10 下段バスケット
- 11 上段バスケット

■ 操作パネル



- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 1 電源ボタン | 5 Delay (スタート予約) ボタン |
| 2 Program (洗浄コース) 選択ボタン | 6 Option (オプション) ボタン |
| 3 洗浄コース表示ランプ | 7 表示ランプ |
| 4 液晶ディスプレイ | 8 Start (スタート)ボタン |

■ 表示ランプ

アイコン	内容
	洗浄工程。洗浄工程になると点灯します。
	すすぎ工程。すすぎ工程になると点灯します。
	乾燥工程。乾燥工程になると点灯します。
	運転終了。洗浄コースが終了すると点灯します。
	塩補充お知らせ [*]
	リンス剤補充お知らせ [*]
	Time Saver (洗浄時間短縮)
	Delay (スタート予約)
	Extra Hygiene (エクストラハイジーン – より殺菌作用のある洗浄機能)
	Xtra Dry (エクストラドライ) 乾燥効果を高める機能です。

※このランプは運転中は表示されません。

■ 洗浄コース

コース	汚れの程度 食器の種類	工程	オプション
ECO ¹⁾ 省エネ洗浄	・ 普通の汚れ ・ 陶器類、ナイフ・ フォーク類	・ 予備洗浄 ・ 本洗い50°C ・ すすぎ ・ 乾燥	・ Extra Hygiene ・ TimeSaver ・ Xtra Dry
AUTO ²⁾ 全自動洗浄	・ すべての汚れ ・ 陶器類、ナイフ・ フォーク類 鍋/フライパン	・ 予備洗浄 ・ 本洗い 45°C-70°C ・ すすぎ ・ 乾燥	・ Extra Hygiene ・ Xtra Dry
 ³⁾ プロゾーン	・ 異なる汚れ ・ 陶器類、ナイフ・ フォーク類 鍋/フライパン	・ 予備洗浄 ・ 本洗い 50°Cと65°C ・ すすぎ ・ 乾燥	・ TimeSaver ・ Xtra Dry
 ⁴⁾ 強力洗浄	・ ひどい汚れ ・ 陶器類、ナイフ・ フォーク類 鍋/フライパン	・ 予備洗浄 ・ 本洗い70°C ・ すすぎ ・ 乾燥	・ TimeSaver ・ Extra Hygiene ・ Xtra Dry
 グラス洗浄	・ 普通の汚れまたは 軽い汚れ ・ 壊れやすい陶器類、 ガラス食器	・ 本洗い45°C ・ すすぎ ・ 乾燥	・ Xtra Dry
30MIN ⁵⁾ 30分洗浄	・ 食後すぐの汚れ ・ 陶器類、ナイフ・ フォーク類	・ 本洗い60°C ・ すすぎ	・ Extra Hygiene ・ Xtra Dry
SILENT ⁶⁾ 静音洗浄	・ 普通の汚れ ・ 陶器類、ナイフ・ フォーク類	・ 予備洗浄 ・ 本洗い50°C ・ すすぎ ・ 乾燥	・ Xtra Dry

- 1) このコースでは、普通の汚れの陶器類、ナイフ・フォーク類を最も効率的に水や電力を節約しながら洗浄できます。(試験機関で検査する際の標準コースです)
- 2) 汚れの程度とカゴ内の個数を感知し、自動的に温度、水量、エネルギー消費量、コース時間を調整します。
- 3) このコースでは、異なる汚れの食器類をまとめて同時に洗うことができます。こびりつきのひどい汚れの食器類は下段バスケットに入れ、普通の汚れの食器類は上段バスケットに入れます。下段バスケットのほうが、上段バスケットより水圧と水温が高くなります。
- 4) 最も高温ですすぎ、清潔に仕上げます。水温70°Cで10分以上すすぎを行ないます。
- 5) このコースは、食後すぐの食器を洗うのに適しており、短時間できれいに仕上げるのが特徴です。
- 6) ポンプを低速で運転することで、通常のプログラムに比べ騒音レベルを減少する、音の静かなプログラム。運転時間が長くなりますので、夜間や電気料金の安い時間帯などにご使用ください。

■ 水使用量と電力消費量

洗浄コース ¹⁾		水量(リットル)	電力(kWh)	洗浄時間(分)
ECO	省エネ洗浄	9.9	0.625	240
AUTO	全自動洗浄	6 - 12	0.5 - 1.2	40 - 150
	プロゾーン	11 - 13	1.0 - 1.2	130 - 150
	強力洗浄	11 - 13	1.0 - 1.2	130 - 150
	グラス洗浄	10 - 12	0.8 - 0.9	60 - 80
30MIN	30分洗浄	8	0.6 - 0.8	30
SILENT	静音洗浄	9 - 11	0.9 - 1.1	220 - 230

1) 水圧、水温、電源供給の違い、食器の種類や量により消費数値は異なる場合があります。

各種設定

■ 洗浄コース選択モードとユーザー設定モード

本機がコース選択モードのときは、洗浄コースの設定やユーザー設定モードで各種設定を切り替えることができます。

ユーザー設定モードでは、次の設定を変更することができます：

- ・ リンス剤補充お知らせ機能の有効／無効化
- ・ Air Dryの有効／無効化

※この設定は再度変更するまで、同じ設定のまま残ります。

■ 洗浄コース選択モードの設定方法

ECOコースのインジケーターが点灯し、ディスプレイに所要時間が表示されたとき、本機は洗浄コース選択モードになります。(通常は、電源を入れると洗浄コース選択モードになります。)

洗浄コース選択モードにならない場合は、次の手順で洗浄コース選択モードを設定します。

- ・ 洗浄コース選択モードになるまで Delay(スタート予約)と Option (オプション) ボタンを同時に長押しします。

■ ユーザー設定モードの設定方法

Delay (スタート予約) キーと Option (オプション) キーを同時に長押しします。

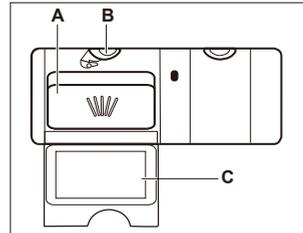
ECO、**AUTO**、 が点滅を始め、ディスプレイには何も表示されなくなります。

■ 洗剤について

⚠ 注意

食器洗い機専用の洗剤以外は使用しないでください。

1. リリースボタン (B) を押して、洗剤ディスペンサーの蓋 (C) を開きます。
2. ディスペンサー (A) に粉末、またはタブレット洗剤を入れます。
3. 洗剤ディスペンサーの蓋を閉め、リリースボタン (B) がしっかりと固定されていることを確認します。



■ マルチタブレットについて

マルチタブレットは洗剤機能とリンス剤が一体となっており、種類によってはその他クレンジング、リンス剤を含む場合もあります。

■ リンス剤ディスペンサーについて

リンス剤を使用すると食器乾燥時にガラスの曇りや水滴跡を残さずに乾燥できます。リンス剤は高温すすぎ工程で、リンス剤ディスペンサーから自動的に投入されます。

■ リンス剤がなくなったときのお知らせ

リンス剤がなくなるとリンス剤補充お知らせの表示ランプが点灯し、補給が必要なことをお知らせします。リンス剤が含まれるマルチタブレットをお使いで乾燥の仕上がりにご満足いただいている場合は、リンス剤補給のお知らせ機能を無効にすることもできますが、乾燥効果を最大限にするため、リンス剤の使用をお勧めします。

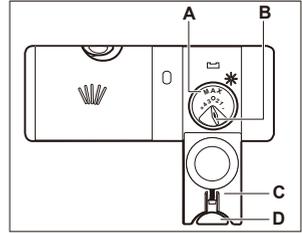
標準的な洗剤またはリンス剤が含まれていないマルチタブレットを使用する場合、リンス剤補充お知らせ機能を有効にして、操作パネルのリンス剤補充お知らせの表示ランプ  が点灯するようにしてください。

■ リンス剤を入れるには

⚠ 注意

食器洗い機専用のリンス剤以外は使用しないでください。

1. リリースボタン (D) を押してリンス剤ディスペンサーの蓋 (C) を開きます。
2. 「MAX」の印までディスペンサー (A) にリンス剤を補給します。
3. こぼれたリンス剤は吸水性のよい布で拭き取ってください。洗浄プログラム中に泡が立ちすぎるのを防ぎます。
4. リンス剤ディスペンサーの蓋を閉め、リリースボタン (D) がしっかりと固定されていることを確認します。



i リンス剤の補充が必要なときは、操作パネルのリンス剤補充お知らせ  が点灯します。

リンス剤の量はリンス剤投入量調整つまみ (B) を回し、レベル 1 (最小量) からレベル 4 (最大量) まで手動で設定できます。

※工場出荷時設定：レベル 1

■ リンス剤補充お知らせ機能の有効/無効化

1. ユーザー設定モードにします。(P.13「各種設定」をご参照ください)
2. Start (スタート) ボタンを押します。
 - ・ **ECO** および  表示ランプが消えます。
 - ・ **AUTO** 表示ランプは点滅し続けます。
 - ・ 現在の設定が液晶ディスプレイに表示されます。
 - ：  はリンス剤補充お知らせ機能が有効であることを示します。
 - ：  はリンス剤補充お知らせ機能が無効であることを示します。
3. Start (スタート) ボタンを押し、設定を変更します。
4. 電源ボタンを押し、設定を確定します。

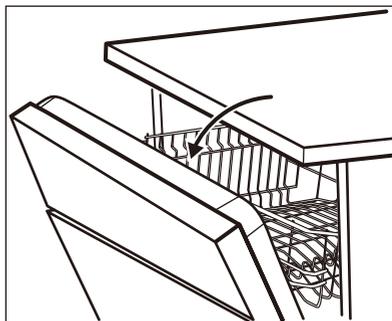
Air Dry(エアドライ)について

本機は消費電力を抑える「余熱乾燥方式」を採用しています。

乾燥工程になるとドアが自動的に少し手前に開き、最後のすすぎ工程で発生した熱い蒸気を逃がします。ドアが開くことで冷やされた庫内と温かい食器の温度差が乾燥効果を高めます。

この機能はすべてのコースで設定できます。さらに効果を高めたいときは、エクストラドライ機能と組み合わせてください。

※P.34「乾燥システムについて」も合わせてお読みください。



- ・ エアドライが作動して余熱乾燥が終了したら、必ず食器が冷めてから取り出してください。P.22「バスケットから食器を取り出すとき」をご参照ください。
- ・ エアドライを使用すると、ドアが開いたまま終了します。小さなお子様がいる場合や、運転終了後もドアを閉めた状態を保ちたいとき(開いたままの状態になるため)は、本機能の設定を0o(作動しない)にしてください。

⚠ 注意

エアドライ機能が作動し、ドアが開いたあと2分間はドアを閉めないでください。故障の原因となります。また、ドアは自動的に閉まりません。

■ エアドライの有効/無効化

1. ユーザー設定モードにします。(P.13「各種設定」をご参照ください)
2. Delay (スタート予約) ボタンを押します。
 - ・ **ECO**、**昼**、**AUTO** が消えます。
 - ・ $\frac{2}{4}$ が点滅します。
 - ・ 現在の設定がディスプレイに表示されます。
3. Option (オプション) ボタンを押して設定をします。Option (オプション) ボタンを押すごとに表示が切り替わるので、どちらかを選びます。
 - ： \square はエアドライが作動します。(有効)
 - ： \square はエアドライは作動しません。(無効)
4. 電源キーを押し、設定を確定します。

Option (オプション) 機能

-  洗浄コース開始前に毎回ご希望のオプションを選択します。運転中は追加機能の選択及び設定機能の解除はできません。
-  オプションの中には、同時に選択できない項目もあります。その場合は、自動的にいずれか一方、または両方の選択が無効となります。有効なオプションの表示ランプのみが点灯します。

■ TimeSaver (洗浄時間短縮) について

水圧と水温を上げることで、洗浄・乾燥を短時間で行うことができるオプションです。全工程の所要時間が約半分になります。洗い上がりは通常コースと変わりませんが、乾燥の仕上がりは低下します。

■ TimeSaver (洗浄時間短縮) の設定方法

Option (オプション) ボタンを  の表示ランプが点灯するまで押します。本機能を選択できない洗浄コースの場合は、当該表示ランプが点灯しないか、数秒点滅したあとに消えます。液晶ディスプレイには、洗浄コースの運転時間が更新されて表示されます。

■ ExtraHygiene (エクストラハイジーン) について

最終すすぎ工程で、最低 10 分間以上 70°C の水温を保つ事により、より殺菌作用のある洗浄効果が得られます。

■ ExtraHygiene (エクストラハイジーン) の設定方法

Option (オプション) ボタンを  の表示ランプが点灯するまで押します。本機能を選択できない洗浄コースの場合は、当該表示ランプが点灯しないか、数秒点滅したあとに消えます。液晶ディスプレイには、洗浄コースの運転時間が更新されて表示されます。

■ Xtra Dry (エクストラドライ) について

乾燥効果を高めたいときにこの機能を「オン」にしてください。運転時間、使用水量、及び、すすぎの水温が変更されます。すべてのコースで設定できます。一度「オン」にすると次に「オフ」にするまで、設定は有効です。

※時間短縮機能を設定したとき、本機能は使えません。

※ECO (エコノミー洗浄) コースの場合は、一度「オン」にした状態が継続しません。毎回「オン」にする必要があります。

■ Xtra Dry (エクストラドライ) の設定方法

Option (オプション) キーを  の表示ランプが点灯するまで、くり返し押してください。この機能が使えない洗浄コースを選んでいる場合は、表示ランプが点灯しないか、数秒間点滅した後、消灯します。「オン」にしたあとのディスプレイには変更された運転時間が表示されます。

※洗浄コースごとに使用できるオプションは、P.12 「洗浄コース」をご覧ください。

■ 塩用容器について

ヨーロッパでは硬水の為、水を軟化させるために塩をういます。同梱の容器は日本では使用しません。廃棄して頂いても問題ありません。

<御参考>

塩容器に塩を入れるには：

1. 塩容器(塩入れ)の蓋を、時計方向と逆に回して外します。
2. 1リットルの水を塩容器に入れます(初回だけ)。
3. 皿洗い用の塩を容器が一杯になるまで入れます。
4. 塩容器の口の部分についた塩を拭き取ります。
5. 時計方向に回して蓋を閉めます。

i 塩容器に塩を入れるとき、塩分を含んだ水がこぼれてしまい、浸食が生じる恐れが生じます。これを防ぐには、塩容器を一杯にした後、コースをスタートさせてください。

i 塩容器に塩を補充する必要がある場合は、ディスプレイにメッセージが表示されます。



使い方の手順

1. 給水栓を開けます。
2. 主電源 **II** を押して、本機の電源を入れます。
※P.10「各部の名称」及び P.11「操作パネル」をご参照ください。
 - ・ディスプレイに塩容器が空のメッセージが表示される場合がありますが、塩を補充しなくても本機の動作に影響はありません。
 - ・ディスプレイにリンス剤ディスペンサーが空のメッセージが表示されている場合は、リンス剤を足してください。
3. 汚れた食器をバスケットに入れてください。
4. 食器洗い機専用の洗剤を入れます。
5. 食器の種類と汚れ具合に応じて、適切な洗浄コースを設定してスタートさせます。

■ 洗浄コースの設定と開始

■ Auto Off(オートオフ)機能

本機の運転停止時に、自動的に電源を切ることで、消費電力の削減を行う機能です。
この機能は下記の場合に作動します。

- ・洗浄コース終了後 5 分が経過したとき
- ・洗浄コースを開始しないまま 5 分が経過したとき

■ 洗浄コースの設定

1. 本機の電源を入れてください。洗浄コース選択モードになってドアが閉まっていることを確認してください。(P.13「各種設定」をご参照ください)
2. Program(洗浄コース選択)ボタンを希望の洗浄コースの表示ランプが点灯するまで長押しします。
液晶ディスプレイに運転時間が表示されます。
3. 必要に応じてオプション機能を選択してください。
4. Start(スタート)ボタンを押して洗浄コースを開始します。
 - ・運転中の工程の表示ランプが点灯します。
 - ・液晶ディスプレイに表示される運転時間は1分ずつカウントダウンしていきます。

■ Delay(スタート予約)を使って洗浄するには

1. 洗浄コースを選択します。
2. Delay(スタート予約)ボタンを希望する洗浄開始までの時間(1～24 時間まで1 時間毎)が表示されるまで繰り返し押します。
3. Start(スタート)ボタンを押すとカウントダウンを始めます。
 - ・スタート予約表示ランプが点灯し、カウントダウンが始まったことをお知らせします。
 - ・カウントダウンは1 時間毎に表示が変わります。運転開始までの残り時間が1 時間を切ったら1分毎にカウントダウンしていきます。

カウントダウンが終了すると選択された洗浄コースが開始します。

スタート予約の表示ランプは消灯し、運転中の工程の該当表示ランプが点灯します。

■ 運転中にドアを開けると

コース運転中にドアを開けると、洗浄コースが止まるため、消費電力や運転時間に影響を及ぼす可能性があります。ドアを閉じると、洗浄コースが中断されたところから再開します。

■ カウントダウン中に Delay(スタート予約)を取り消すには

スタート予約をキャンセルしたいときは、改めて洗浄コースやオプション機能を選択する必要があります。

1. 本機のドアを開けます。
2. Delay(スタート予約)と Option(オプション)ボタンを洗浄コース選択モードになるまで長押しします。

■ 運転中の洗浄コースを取り消すには

1. 本機のドアを開けます。
2. Delay(スタート予約)と Option(オプション)ボタンを洗浄コース選択モードになるまで長押しします。

※新しい洗浄コースを再度設定する前に洗剤ディスペンサーに洗剤が入っているか確認してください。

■ 洗浄コースの終了時には

コースが完了すると、ディスプレイに 0:00 と表示され、終了インジケーターが点灯します。主電源ボタン以外の全てのボタンが押しても反応しなくなります。

1. 電源ボタンを押し、または自動オフ機能で電源が自動的に切れるのを待ちます。自動オフ機能が作動する前にドアを開けた場合は、本機は自動的に電源が消えます。

洗浄効果を上げるためのワンポイント・アドバイス

最適な洗浄と乾燥効果を得るため、また、環境を保全するために、下記にそってご使用ください。

■ 全般

- ・あらかじめ食器から大きな残菜を取り除きましょう。
- ・手洗いでの予備洗いはせずに、汚れたままの食器を庫内に入れましょう。
- ・使用時にはバスケットを食器で満杯にしましょう。
- ・食器を入れる時には、スプレーアームのノズルから出る水流が食器の汚れに当たるように並べましょう。
- ・食器同士が重なったり、当たらないように入れましょう。
- ・洗浄する食器の量と汚れの度合いに合わせて洗浄コースを選択しましょう。ECOコースでは、通常の汚れの食器やナイフ・フォーク類を最も効率的な水と電気を使用して洗浄することができます。

■ 洗剤、リンス剤の使用にあたって

- ・洗剤とリンス剤は、必ず食器洗い機専用のものをお使いください。専用製品以外の使用は、故障の原因となります。
- ・短時間洗浄コースでは洗剤タブレットが完全に溶けきらないことがあります。洗剤タブレットを使用する場合は、食器に洗剤が残らないよう、長時間コースをご使用ください。
- ・洗剤は規定量以上を入れないでください。使用前に、洗剤パッケージにある使用量の目安を確認してからお使いください。

■ バスケットに食器を入れるとき

⚠ 注意

本機では、食器洗い機の洗浄に適した食器や鍋のみを洗ってください。

- ・食器洗い機の洗浄に耐えられない繊細な食器は洗わないでください。
- ・木製、角製、アルミニウム、錫、銅製食器は洗わないでください。
- ・水を吸ってしまうような素材(スポンジや布)の物は洗わないでください。
- ・食器をバスケットに入れる前に、大きな残菜を取り除いてください。
- ・カップやグラス、フライパンなどは開口部を下に向けて入れてください。
- ・ガラス製の食器は互いがぶつからないように入れてください。
- ・小さな物は、ナイフ・フォーク類用バスケットに入れてください。
- ・軽い食器は、強い水流で動かないよう上段バスケットに入れてください。

⚠ 注意

洗浄を開始する前に、スプレーアームが食器に当たらずに回転することを確認してください。

⚠ 注意

食器洗い機に食器や鍋を入れてすぐに洗浄しないとき、あるいは食器を取り出した後は、必ずドアを閉めてください。ドアを開けたままにすることは、大変危険です。

■ 洗淨を始める前に

以下の項目を必ずご確認ください。

- ・ゴミフィルターに残菜が付着していないこと。また、フィルターが正しく取り付けられていること。
- ・スプレーアームの噴出口に目詰まりがないこと。
- ・リンス剤が投入されていること。
- ・洗剤は、適正な量が投入されていること。
- ・バスケット内の食器が正しく入っていること。
- ・食器の量や汚れの度合いに合った洗淨コースが選択されていること。

■ バスケットから食器を取り出すとき

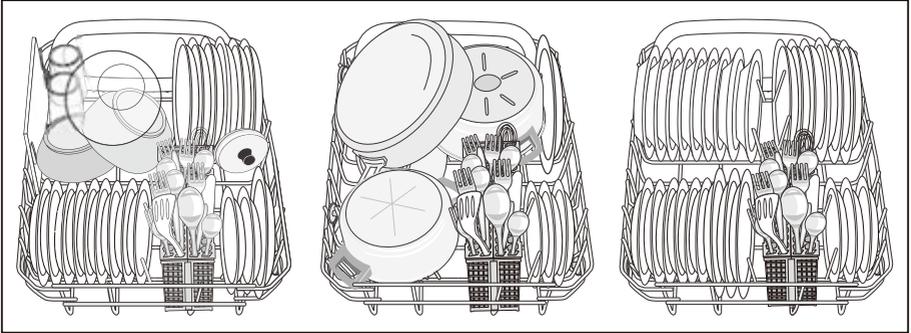
- ・食器を庫内から取り出すときは、食器が冷えてから取り出してください。熱いまま取り出すと、食器が破損することがあります。
- ・食器を取り出すときは、最初に下段バスケットの食器を取り出し、次に上段バスケットの食器を取り出しましょう。上段バスケットの水滴が下段バスケットに落ちるのを防ぐことができます。

注意

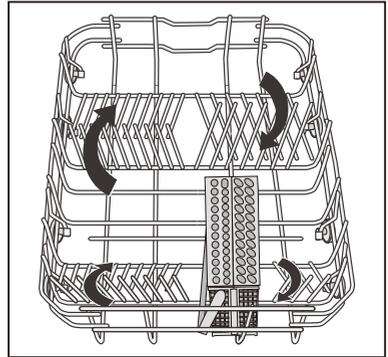
洗淨が終了した後、庫内のステンレスの壁やドアの内側に水滴が残ることがあります。そのまま放置しておいても構いませんが、気になる場合は拭き取ってください。

■ 下段バスケット

片手鍋、蓋、皿、サラダボウル、ナイフ・フォーク類は下段バスケットにセットしてください。
また大皿や大きい蓋は、バスケットの外枠に近い位置にセットしてください。



下段バスケットの皿立て用の突起は、大型の皿、鍋、フライパン、ボウルなどをセットする際に、平らに折りたたむことができます。



■ ナイフ・フォーク類用バスケット

⚠ 警告

刃の長いナイフを直立した状態で収納することは事故の原因になります。
肉切りナイフなどのように長かったり鋭利なナイフ・フォーク・スプーン製品は、
上段バスケットに水平に置くようにしてください。
また、ナイフなどの鋭利なものをセットしたり取り出したりするときは、十分に注意
するようにしてください。

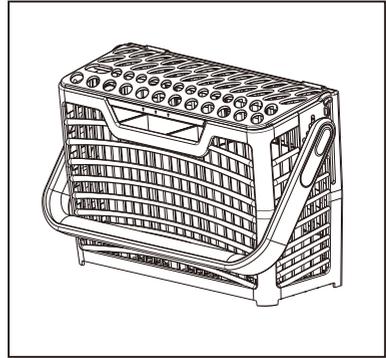
フォークやスプーンなどは、柄の部分を下にして差し込みます。

ナイフ類は、柄の部分を上にして差し込んでください。

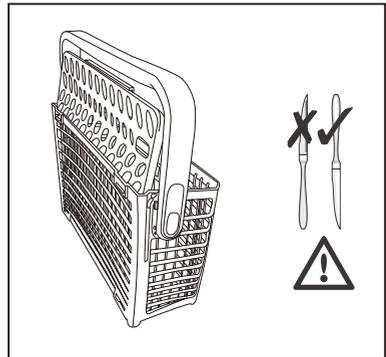
スプーン同士がからまないように、間に他のものを差し込んでください。

必要に応じて、ナイフ・フォーク類用グリッドを使用してください。

ナイフ・フォーク類のサイズが大きく、グリッドを使用できない場合は、グリッドを外側にたたんでおくことができます。



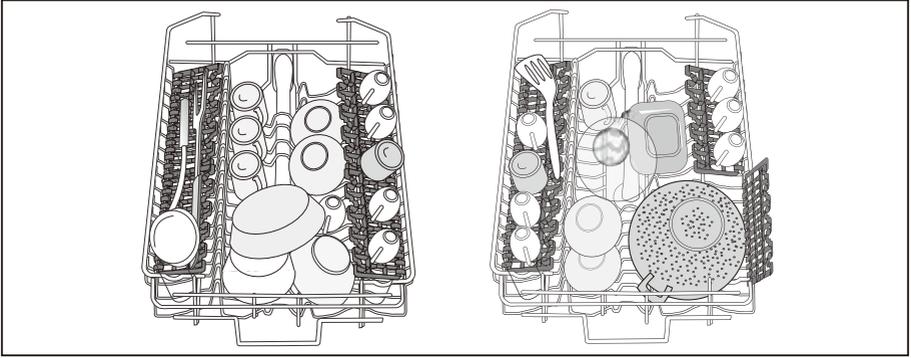
バスケットを持つときは、ハンドル部分をしっかりと持ってください。



■ 上段バスケット

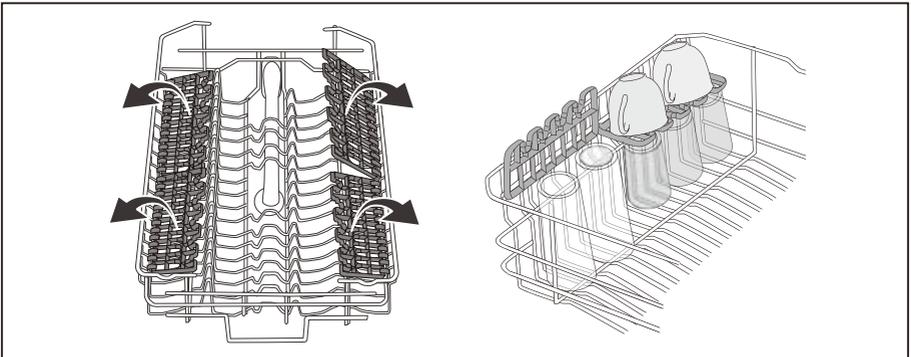
上段バスケットには、プレート（デザート皿、受け皿、直径24cmまでのディナープレート）、サラダボール、カップ、グラスなどをセットします。

食器類の表面全体に水が当たるように、配置を調整してください。



丈の高い食器の場合は、カップ用ラックを立ててご使用ください。

カップ用ラックをご使用にならない場合は、一度持ち上げてから、内側に倒してください。



■ 上段バスケットの高さ調節

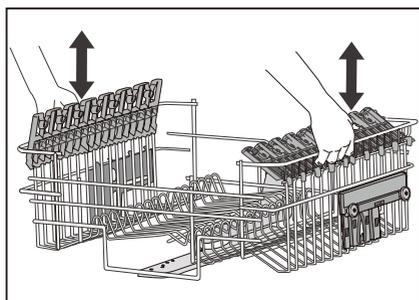
より多くの食器類をセットするために、上段バスケットの高さを調節することができます。

上段バスケットを高位置まで持ち上げる場合は、次の手順で行います。

1. バスケットを、それ以上動かさない位置まで引き出します。
2. バスケットがきちんとはまり安定するまで、両側を持ってゆっくりと持ち上げてください。

上段バスケットを低位置まで下げる場合は、次の手順で行います。

1. バスケットを、それ以上動かさない位置まで引き出します。
2. 両側を持って一度ゆっくりと持ち上げ、その後ゆっくりと下げます。



⚠ 注意

- バスケットの片側だけを持って持ち上げたり、下げたりしないでください。
- バスケットを持ち上げたとき、カップ用ラックにカップを置かないでください。

お手入れとクリーニング

⚠ 警告

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、専用ブレーカーを落とす事故・ケガ・感電・ショートの恐れがあります。

庫内や食器の温度に気をつける

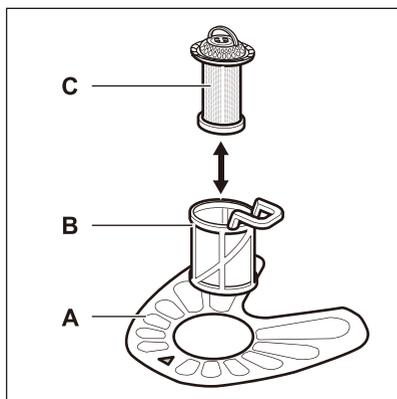
食器の取り出し、フィルターの掃除、お手入れは運転終了後約60分以上経過してから行ってください。食器破損、やけどの恐れがあります。

■ フィルターの取り外しおよび掃除方法

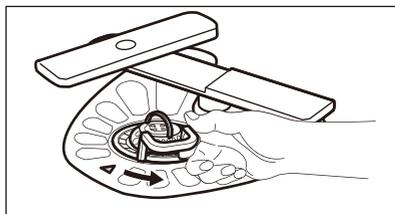
本機には3種類のフィルターが取り付けられています。

必要に応じてフィルターをクリーニングしてください。

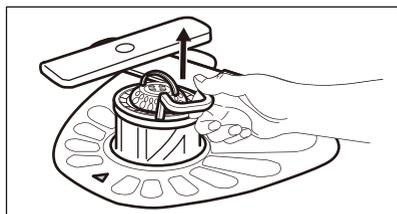
フィルターが汚れていると十分な洗浄効果が得られません。



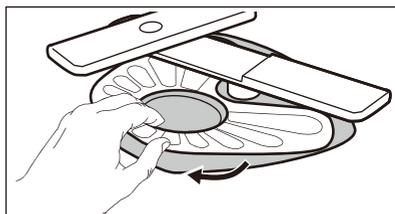
1. フィルター (B) を反時計方向に回して、取り外します。



2. フィルター (C) をフィルター (B) から取り出します。



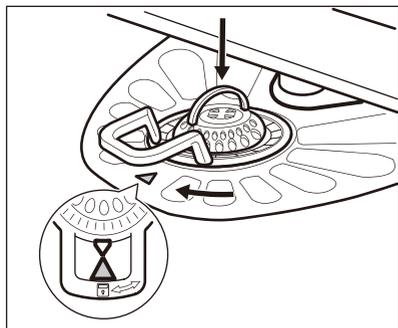
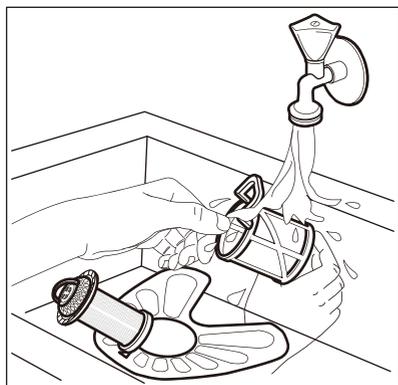
3. 本体の底部から平フィルター (A) を取り外します。



⚠ 注意

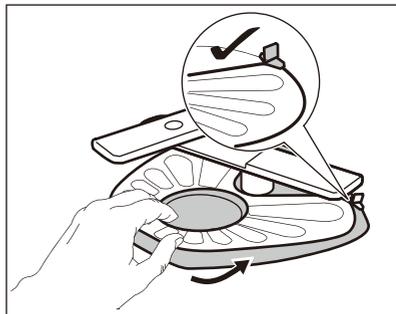
フィルターを取り付けずに本機を操作することは、絶対に行わないでください。また必ずフィルターの取り付けが正しいことを確認してから本機を操作してください。取り付けが正しくないと、十分な洗浄効果が得られないほか、故障の原因となります。

4. 取り出したフィルターをよく水洗いします。



5. 食べ物のかすや汚れがフィルター槽内または回りから除去されていることを確認してください。

6. 平フィルター (A) を元の場所に戻します。2つの目印とぴったりと正しく合っているか、ご確認ください。



7. フィルター (B) と (C) を組み立てます。
8. フィルター (B) を平フィルター (A) に戻します。固定されるまで、フィルター (B) を時計方向に回します。

■ スプレーアームの掃除



スプレーアームは取り外さないでください。

スプレーアームの穴が詰まってしまった場合は、楊枝などで汚れを取り除きます。

■ 製品表面の掃除

- 本体の表面と操作パネルは濡れた柔らかい布で掃除します。
- 洗剤を使用する場合は、中性洗剤のみを使用します。
- 研磨剤の入ったもの、研磨パッド、溶剤の使用は避けてください。

■ 庫内の掃除

- ドア周囲のパッキンを含む、庫内を湿らせた布で細部まで掃除してください。
- 普段、短時間の洗浄コースをお使いになる場合は、庫内に水垢や石灰かす、油脂が附着している場合があります。これを防ぐには、最低月2回程度、運転時間の長いコースを実行することをお勧めします。
- お使いの機種最高の洗いを保つため、食器洗い機用の特別洗浄剤を毎月お使いいただくことをお勧めします。お使いの際は、商品パッケージに記載の説明に従ってください。

故障かな？と思ったら

本機が正常に作動しない場合は、下記項目に従って点検を行ってください。

警告



点検後も正常に動かなかったり、明らかに異常がある場合は、すぐ給水栓を閉め、電源プラグを抜くか専用ブレーカーを落とし安全を確保する
火災・事故・ケガ・感電・水漏れ・故障の恐れがあります。お買い上げの販売店にご連絡ください。

確認してください

以下の解決方法を試す前に食器洗い機の電源を一度切り、再度電源を入れて試してください。

不具合によってはディスプレイにエラーコードが表示されます。

- **10** - 本機庫内に水が給水されない。
- **20** - 本機庫内の水が排水されない。
- **30** - 水溢れ防止装置が作動している。

問 題	考えられる原因	処 置
本機庫内に水が給水されない。 エラーコード： 10 または 11	給水栓が詰まっているか内側に石灰かすが付着している。	給水栓を清掃します。
	水圧が低すぎる。	お住まいの地域の水道局に連絡します。
	給水栓が閉じている。	給水栓を開きます。
	給水ホースのフィルタが詰まっている。	フィルタを掃除します。
	給水ホースの接続が正しくない。	必ず正しく接続するようにします。
	給水ホースが破損している。	給水ホースが破損していないかどうか確認します。
本機庫内の水が排水されない。 エラーコード： 20	排水ホースの接続が正しくない。	必ず正しく接続するようにします。
	排水ホースが破損している。	排水ホースが破損していないかどうか確認します。
水濡れ防止装置が作動している。 エラーコード： 30	給水栓を閉じ、修理依頼窓口に連絡します。	

問 題	考えられる原因	処 置
電源が入らない。	電源プラグがコンセントに接続されていない。	電源プラグを差し込みます。
洗浄プログラムが開始されない。	本機のドアが開いている。	ドアを閉めます。
	スタートボタンを押さなかった。	スタートボタンを押します。
	タイマー予約が設定されている。	・タイマー予約を取り消します。 ・カウントダウンが終了すると洗浄プログラムが自動的に開始します。
	本機が硬水軟化剤の補充をしている。	処置が終わるまで5分程度お待ちください。
動作が停止し次の動作まで時間がかかる。	誤動作ではありません。最適な洗い上がりや省エネのために時間がかかることがあります。	
プログラム終了までの時間が長い。	時間のかかるコースを選んでいる。	Time Saver(時間短縮)コースを選び、運転時間を短くしてください。
	スタート予約が設定されている。	スタート予約(Delay)をキャンセルするか、開始までお待ちください。
ディスプレイの運転見込み時間が増えたり、終了間際の時間まで飛んで表示される。	表示される時間は、洗浄終了までの目安です。	Autoコースでは自動的に汚れ具合を判断するため、食器を下洗いしている場合に最初の表示時間より早く終了することがあります。また、夏と冬では温水になるまでの時間の違いから、冬のほうが表示時間が多くなります。
ドアから水漏れする。	本体が水平・垂直に設置されていないなど、正しく固定されていない。またはドアの取り付けがずれている。	設置が水平、垂直でない場合は各調節脚を調節してください。詳しくは設置マニュアルを確認します。
	庫内のサテライトスプレーアームが破損している。	サテライトスプレーアームに破損がないか確認します。
	庫内のサテライトスプレーアームのネジが緩んでいる。または取れている。	サテライトスプレーアームのネジが正しく締まっているか確認します。

問 題	考えられる原因	処 置
ドアが開けづらい。	本体が水平・垂直に設置されていない。	設置が水平、垂直でない場合は各調節脚を調節してください。詳しくは設置マニュアルを確認します。
	中の食器類が引っかかっている。	食器類は正しい位置に入れるようにしてください。
中からガタガタと音がする。	<ul style="list-style-type: none"> ・食器類が正しく入っていない ・スプレーアームが食器や鍋の取っ手などに接触して回っていない 	食器を正しく入れ直してください。食器の入れ方はP.21～25をご参照ください。
ブレーカーが落ちる。	アンペア数が不足している。	電源のアンペア数や電気量を確認してください。複数の電化製品を同時に使用することは控えてください。
	電気系統の不具合の場合があります。	給水栓を閉めてからブレーカーを上げずに、弊社修理依頼窓口にご連絡ください。

上記を点検後に電源を入れると、点検に際してプログラムが中断されていた場合は、中断されたところから再開されます。

再度、同じ問題が発生した場合は、弊社修理依頼窓口にご連絡ください。

■ 洗浄結果に満足できないとき

問題	考えられる原因	処置
洗い上がりに満足がいかない。	P.19～20「使い方の手順」 P.21～26「洗浄効果を上げるためのワンポイント・アドバイス」をご覧ください。	
	汚れが強すぎて、洗浄コースが合っていない。	より強い洗浄コースで洗ってください。
	スプレーアームやフィルターが目詰まりしている。	スプレーアームとフィルターをきれいに洗ってください。「お手入れとクリーニング」をご覧ください。
乾燥の仕上がりに満足がいかない。	食器類を長時間、閉めきった庫内に放置した。	運転終了後、なるべく早めに取り出す。
	リンス剤が空になっている。	リンス剤を投入してください。P.14～15参照。
	リンス剤投入量が足りない。	リンス剤デispenserの設定レベルを上げてください。P.15参照。
	庫内にプラスチック製の食器が多く入っている。	乾燥が不十分なときはタオルなどで拭いてください。
食器の汚れがきれいに落ちない。	食器の種類や汚れの程度に適した洗浄プログラムでなかった。	必ず食器の種類や汚れの程度に適した洗浄プログラムを選択するようにします。
	すべての食器にくまなく水が当たるよう、正しくバスケットの中にセットしなかった。	バスケットの中に食器類を正しくセットします。
	スプレーアームが自由に回転しない。バスケットに食器を正しくセットしていない。	不適切な食器のセットの仕方ですプレーアームの動きを妨げていないか確認します。
	フィルタが汚れているかまたは組み立て・取り付けが正しくない。	フィルタがきれいか、きちんと組み立て・取り付けされているか確認します。
	洗剤の量が少なすぎる、または補給されていない。	必ず洗剤の量が十分か確認します。
グラスや食器にすじ、白っぽい斑点、青っぽい膜などが付着している。	リンス剤の量が多すぎる。	リンス剤の量を減らします。

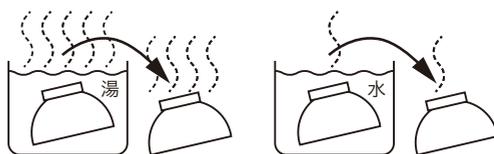
問 題	考えられる原因	処 置
乾いた水滴の跡がグラスや食器についている。	リンス剤の量が少なすぎる。	リンス剤の量を増やします。
	洗剤が原因の場合があります。	違うメーカーの洗剤に変えてみます。
食器が濡れている。	乾燥段階抜き、もしくは乾燥段階短縮の洗浄プログラムを選択した。	食器をすっかり乾燥させるには、数分間ドアを半開き状態にしておきます。
食器類が濡れて曇っている。	リンス剤ディスペンサーが空になった。	リンス剤ディスペンサーにリンス剤を補給してください。
庫内が濡れている。	これは本機の不具合ではなく、湿度の高い空気が壁面で液体化したものです。	完了後、しばらくドアを少し開けておいてください。
洗浄時の通常とは異なる泡立ち	食器洗い機以外の洗剤を使っている。	食器洗い機専用の洗剤をお使いください。
	リンス剤ディスペンサーから漏れがある。	弊社修理依頼窓口にご連絡ください。
食器類にさびの跡がある	銀製品とステンレス製の食器類を一緒に入れている。	銀製品とステンレス製食器類を近くに置かないでください。
コース終了後も洗剤が残っている。	洗剤タブレットがディスペンサーに詰まり、水で完全に洗い流されていない。	スプレーアームが詰まっていないかご確認ください。
	ディスペンサーから洗剤が洗い流されていない。	スプレーアームが詰まっていないかご確認ください。
	食器を詰めすぎてディスペンサーのふたが開かない。	バスケット内の食器類が洗剤ディスペンサーの蓋が開くのを妨げていないかご確認ください。
庫内の臭い	「お手入れとクリーニング」をご覧ください。	

問 題	考えられる原因	処 置
食器類のくすみ、色落ち、 欠け	熱湯での強い洗浄に耐えら れない素材の食器である。	本機には食器洗い機で洗浄 できるもののみを入れてく ださい。
	食器の出し入れが乱暴だった。	バスケットへの食器の出し入 れは、丁寧に行ってください。 食器の入れ方は P.21～25を ご参照ください。
	材質がデリケートなものが 下部バスケットに入っている。	繊細な食器類は上部バスケ ットに入れてください。

■ 乾燥システムについて

本機の乾燥方式は、「余熱乾燥方式」です。

余熱乾燥方式とは、すすぎ洗浄のお湯で食器を温め、その熱を長く保って水分の蒸発を促す方式です。一度の加熱がすすぎ洗浄と乾燥の2回に利用される、省エネルギーのお手本といえます。



お湯につけた食器と水につけた食器をカゴに取り出して、どちらが自然に早く乾くでしょう？ 当然、お湯につけた温かい(保温)食器の水分が早く蒸発しますね。これが余熱乾燥です。

※食器の量が少ない、または陶器類が少ない場合は、余熱乾燥は十分に機能しません。余熱乾燥を上手に働かせるためには、庫内に十分な食器を入れて洗浄してください。

アフターサービス

■ 保証について

1. この製品には、製品保証書がついています。
保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みになり大切に保管してください。もし、販売店の印や、お買い上げ日が記載されていない場合は、お客様が購入日を証明できる書類（購入証明書・領収書、など）を必ずご提示ください。
2. 保証期間は、お買い上げの日から2年間です。
保証書の記載内容により修理いたします。（保証期間中でも有料になる場合がありますので、保証書をよくお読みください）保証書がない場合は、無償修理が受けられない場合があります。
3. 保証期間後の修理は…
お買い上げの販売店、または弊社修理依頼窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
4. 業務用での使用、車輛、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障および損傷は、保証期間内でも原則として有料修理となります。

■ 修理を依頼される前に

1. 「故障かな？と思ったら」をよくお読みになり、もう一度お調べください。
2. それでも異常があるときは、使用をやめて給水栓を閉めてから、電源プラグを抜くか、専用のブレーカーを落としてお買い上げの販売店、または弊社修理依頼窓口にて次ページの内容をご連絡のうえ、修理をお申しつけください。お申し出により出張修理いたします。

警告



修理技術者以外は分解や改造および修理をしない

技術者以外の方が修理等を行う事はとても危険です。お買い上げの販売店または弊社修理依頼窓口にご連絡ください。

■ 補修用性能部品について

重要

弊社は、この製品の補修用性能部品の保持期間を製造打切後6年間としております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

修理のご依頼

■ お申込は…

修理依頼窓口（下記またはお買い上げの販売店にご連絡ください）

エレクトロラックス・ジャパン株式会社

【フリーダイヤル】 0120-544-507

<https://www.aeg-jp.com>

■ ご連絡いただくこと

品名 : 全自動食器洗い機

型名 : FEE63400PM

使用開始年月 : 年 月 日

故障の内容 : (できるだけ詳しく)

製品番号(PNC) : 911 064 014

製造番号(S.N.) :

i 重要

保証期間内でも、操作ミスや設置不備による故障の場合は、費用が発生することがあります。

消費生活用製品安全法等に基づく 長期使用製品安全点検制度について

【本機は消費生活用製品安全法(消安法)で指定される特定保守製品です。】

■ 特定保守製品とは…

「消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化(経年劣化)により安全上支障が生じ、一般消費者の生命又は身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等からみてその適切な保守を促進することが適当なもの(消安法第2条第4項)」として指定された製品です。

■ 法定の点検期間になったら、点検を受けましょう。

- 特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、製品毎に設定された点検期間中に点検を受けることが製品の所有者の責務として求められております。
(消安法第32条の14)
本機に表示されている点検期間になったら、忘れずに点検を受けましょう。
- 法定の点検後もご使用を継続する場合には、こまめに点検を受けることが本機を安全にお使いいただくために必要となりますので、ご注意ください。

■ 法定の所有者登録をしましょう。

- 特定保守製品の所有者は、この製品の製造(輸入)事業者により法定の所有者登録をすることが求められております。(消安法第32条の8第1項および第2項)
製品に同梱した「所有者票」に記載して投函又は以下の連絡方法にてご登録をお願いします。未だご登録がお済みでない方や、所有者登録の内容に変更が生じた場合には、速やかに変更登録をお願いします。
- ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法および当社規定により適切な安全対策のもとに管理し、法定点検、リコール等製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用致しません。

<所有者登録の方法>

食器洗い機に同梱されている「所有者票(返信ハガキ)」に必要事項を記入の上、返送してください。ハガキを紛失した場合、もしくは所有者情報に変更になった場合は、弊社ホームページから登録用紙をダウンロードし、記入後ファックスもしくは郵送にてご返送ください。登録用紙返送先は、P.39「点検制度に関するお問い合わせ先」をご参照ください。

■ 法定の点検通知をします。

法定の所有者登録をいただいた方に、法定の点検通知をします。(消安法第32条の12)
引越し等で所有者登録の内容に変更が生じた場合には、必ず変更登録をお願いします。

【本機的设计標準使用期間について】

本機は、設計標準使用期間※を8年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

※ 設計標準使用期間とは、標準的な使用条件（下記の〈設計標準使用期間の算定の根拠〉参照）の下で、適切な取扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品毎に設定されるものです。（消安法第32条の3）

メーカー無償保証期間とは異なるものですのでご注意ください。

〈設計標準使用期間の算定の根拠〉

本機的设计標準使用期間は、製造年月を始期とし、弊社の基準による食器洗い機信頼性試験を行った結果に基づき、以下の使用条件を想定して、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終期として設計標準使用期間を設定しております。

環境条件	設置方法	設置マニュアルによる
	温度/湿度	設定なし
	電圧	220 V（本機の定格電圧範囲の中心値）
	水の硬度	3～21°fHの範囲内の水道水 （硬水であれば、17～21°fH）
	給水圧力	取扱説明書による
	給水/給湯	選択プログラムによる
使用条件	負荷	グラスおよび皿類で半分程度の容量
	汚れ度	標準レベル
	洗剤	1サイクルあたり20 g、同ブランドを常時使用
	リンス剤	使用量設定は標準、同ブランドを常時使用
	プログラム	全てのプログラムを各サイクルで均等に実行
想定時間	1日使用回数	1回
	1回の使用時間	取扱説明書による
	1年使用日数	365日

<ご注意ください！>

- 本機が、上記の標準的な使用条件又は使用頻度の根拠となる数値よりも高い場合は、設計標準使用期間よりも早期に経年劣化を生じる恐れが増すことが予想されますので、製品に表示している点検期間よりも早期に点検を受けましょう。
- 具体的な点検時期は、下記の「点検制度に関するお問い合わせ先」にお問い合わせください。
- 製品を一般家庭用以外（例えば、業務用での使用、車輛、船舶への搭載）で使用されたり、上記の標準使用条件と異なる環境でご使用された場合も設計標準使用期間の到来前に経年劣化等による重大事故発生の恐れが高まることが予想されますが、このようなご使用は、お控えいただくようお願いいたします。

■ 点検料金について

- 点検費用は、お客様のご負担となります。点検費用は技術料と出張費を合計した金額となります。また、点検の結果修理が必要な場合は、別途費用を申し受けます。
- ※ 点検費用の設定基準、および点検費用については「点検制度に関するお問い合わせ先」にてお問い合わせいただけます。

【本機の点検の結果必要になると見込まれる部品の保有期間】

本機の設計標準使用期間は8年となっており、その終期をはさんで前後1.5年が点検期間となっています。したがって、本機の点検の結果必要となる部品の保有期間は9年間とさせていただきます。

- ※ 保有期間外の部品は製造中止になる場合があります。
- ※ 上記部品は経年劣化により不具合が発生する恐れのある箇所に関する部品であり、補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）とは異なります。なお、補修用性能部品の保有期間は6年です。

【本機の清掃、その他日常的に行っていただく保守の内容およびその方法】

製品を安全にご利用いただくためには、お客様ご自身でも日常的に清掃を行っていただくようお願いします。具体的には、本書の「お手入れとクリーニング」をご覧ください。

【点検制度に関するお問い合わせ先】

本機の点検等に関するお問い合わせは、下記にお願いします。

エレクトロラックス・ジャパン株式会社

長期使用製品安全点検制度係

【フリーダイヤル】 0120-03-6663

<https://www.aeg-jp.com>

使用を終了した家電製品は正しくリサイクル

-  不適切な処分をすると、深刻な環境汚染を引き起こす恐れがあります。豊かな自然と人々の生活を守るために家電製品は使い終わったら正しくリサイクルしましょう。
- お客様が買い替えをする販売店か、お買い上げ頂いた販売店に引取の依頼をしてください。設置技術者でないと本機を安全に取り外す事が出来ません。
 - 販売店へ引取の依頼が出来ない場合には、処分方法をお住まいの自治体のリサイクル担当窓口にお問い合わせしてください。
 - 本機を他の人に譲渡されるときや信頼できるリユース(中古)ショップに買い取って貰うときは、必ずこの取扱説明書と設置マニュアルを添付してください。設置マニュアルがないと正しい設置が出来ません。
-  設置技術者でないと本機をビルトインユニットから安全に取りす事が出来ません。

警告

適切な処分の為、本機を屋外に仮置きする時は、事前に使用不能にしてください。電源コードからプラグを取り外し、電源コードは切断し、ドアバッキンを外してドアが閉まらないようにしてください。これは、お子さまが本機に閉じこめられる事故など(窒息する危険)を防止するためです。

禁止

無許可の回収業者に絶対に渡さない

家電製品を処分するときに、廃棄物処理法の許可を得ていない回収業者に絶対に渡さないください。ご家庭の不要品を回収するには、廃棄物処理法に基づく「一般廃棄物収集運搬業の許可」又は「市町村の委託」が必要です。

-  ごみの減量や資源の有効活用を図るため、洗濯機・衣類乾燥機・冷凍庫・冷蔵庫・エアコン・テレビは、平成13年4月に施行された家電リサイクル法(特定家庭用機器再商品化法)に基づき、製造メーカーによってリサイクルされます。他の家電製品のリサイクルとは対応が異なりますのでご注意ください。

■ 梱包材

-  すべての梱包材は環境保護に配慮されており、焼却時の危険性もありません。使用されているプラスチック類はリサイクルが可能で、分別が容易のように、次のように表記されています。また、段ボールは再生紙でできています。
- > PE< : ポリエチレン(外側の覆いや庫内の袋など)
 - > PS< : ポリスチレン発泡体(パッドなど)
-  梱包材をリサイクルまたはゴミに出す時は、お住まいの自治体の分別に従ってください。

警告

 製品の梱包材はお子様の近くに置かない
ビニール・発泡スチロール・段ボールなどの梱包材は、お子様にとって窒息事故・ケガの恐れがあります。

仕様

品名	全自動食器洗い機
型名	FEE63400PM
設置方法	ビルトイン
定格電圧	単相 200V
定格周波数	50/60Hz
定格入力	1550 – 2200 W
水道水圧	0.05 Mpa – 0.8 Mpa
洗浄容量 (IEC規格)	9人分
プログラム数	7
外形寸法 (W×D×H)	446 × 570 × 818 – 898 mm
開口寸法 (W×D×H)	600 × 580以上 × 820 – 900 mm
重量	31.8 kg

※選択したプログラムにより使用水量は異なります。

愛情点検 長年ご使用の全自動食器洗い機の点検を！

	<p>こんな症状はありませんか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コード、プラグが異常に熱くなる。 ● 電源コードに深いキズや変形がある。 ● 焦げくさい臭いがする。 ● ビリビリと電気を感じる ● その他の異常や故障がある。
	<p>使用中止</p>	<p style="text-align: center;">↓</p> <p>このような症状のときは、故障や事故防止のため使用を中止し、すぐに給水栓を閉め電源プラグをコンセントから抜くか、本機専用ブレーカーを落として、必ず販売店、または弊社修理依頼窓口にて点検・修理をご相談ください。</p>

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店または弊社修理依頼窓口が無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合。
 - 本書をご用意いただき、お買い求めの販売店または弊社修理依頼窓口でご依頼ください。
 - 本書を修理に伺った際にご提示ください。発生する費用は、実費を申し受けます。なお、離島および離島に準ずる遠隔地では、サービス対応に日数を要するか、対応不可能な場合があります。
- 贈答や転居の場合のアフターサービスについては、事前にお買い求めの販売店にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買い求め後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - 一般家庭用以外（例えば業務用での使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い求めの年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き替えられた場合
 - メンテナンスに伴う部品の交換、メンテナンス費用等の適用除外、電波周波数変更等の適用除外
 - 屋外での用途を目的に設置された場合および弊社設置マニュアル以外の設置やご使用による故障および損傷
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本機は家庭用です。一般家庭の室内で通常の生活に使用する目的で設計・製造されています。これ以外の環境でお使いの場合は、火災や漏電等の事故の恐れがあります。アフターサービスは、ご家庭での使用を対象とさせていただきますのでご了承ください。また、製品修理以外の責はご容赦ください。

※製品保証書はこのページの裏面についています。

※製品保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って製品保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または弊社修理依頼窓口にご相談ください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、本書の「アフターサービス」の章をご覧ください。

製品保証書

- 本書は、お買い上げの日から下記の期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容により、無料修理を行うことをお約束するものです。
詳細は、「無料修理規定」をご参照ください。
- もし、販売店印やご購入日が記載されていない場合は、購入日が証明できる購入証などをご提示ください。
- お客様の情報が記載されていない場合は、お客様ご自身でご記入ください。

品名	全自動食器洗い機	形名	FEE63400PM
製品番号 PNC	911 064 014	製造番号 S.N.	
※お客様	お名前 〒 ご住所 ☎ () -		
※お買い上げ日	年 月 日	※取扱販売店名/住所/電話番号	
保証期間	(お買い上げ日より) 2年	印	

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。



Electrolux

エレクトロラックス・ジャパン株式会社

【フリーダイヤル】 0120-544-507

<https://www.aeg-jp.com>

AEG



156928520-B-052020